

「愛知県歯科口腔保健基本計画」最終評価（案）について

1 計画の概要

(1) 計画の趣旨

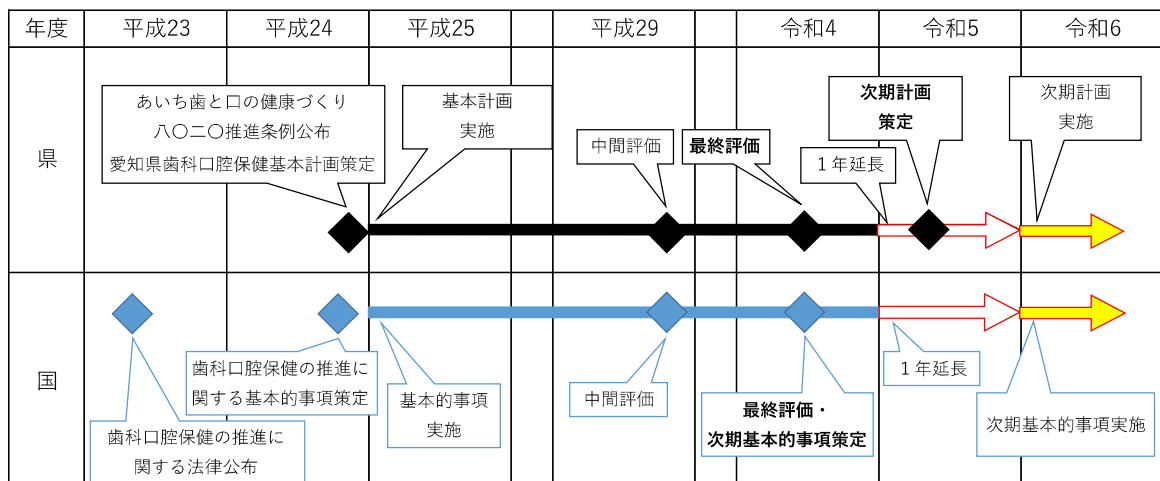
本県では、平成 23（2011）年 8 月に公布された「歯科口腔保健の推進に関する法律」第十三条に基づき、また、平成 25（2013）年 3 月に公布した「あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例」第九条に規定する「基本計画」に位置づける計画として、「愛知県歯科口腔保健基本計画」を策定しました。

本計画は、「歯と口の健康づくりを通じた県民の健康で質の高い生活の実現」を基本理念に掲げ、県民の乳幼児期から高齢期までの生涯を通じた歯科疾患の予防、口腔機能の獲得、維持・向上等により、口腔の健康の保持に関する施策を総合的に推進するための基本的な事項を示すもので、「健康日本 21 あいち新計画」、「愛知県地域保健医療計画」等と整合性を図りながら進めています。また、計画の中間年度である平成 30（2018）年 3 月に中間評価を行い、課題と今後の取組の方向性について整理しました。

計画期間は、当初、平成 25（2013）年度から平成 34（2022）年度までの 10 年間としていましたが、医療法第三十条の四に定める医療計画の計画期間の変更などにより、健康日本 21「国民健康づくり運動プラン」と同じく「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」も 1 年延長となりました。

これに伴い、本計画の計画期間も令和 5（2023）年度までの 11 年間とし、令和 4（2022）年度は現行の計画の最終評価を、令和 5（2023）年度は次期計画の策定を行い、令和 6（2024）年度から次期計画を実施することとしました。

愛知県歯科口腔保健基本計画のスケジュール



(2) 基本方針と目標

本計画は、基本理念の達成のために、5つの基本方針を定めています。基本方針の第1の柱である「口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小」を達成するため、第2から第5の柱にそれぞれ目標を掲げています。

指標については、10年後の目標達成状況を評価する「アウトカム指標」を16（うち1つは中間評価時に新たに設定）、目標達成を導くための行動とその結果を評価する「プロセス・アウトプット指標」を19、合計35（中間評価時に1追加）の指標を設定しています。

なお、各指標の達成状況は、「愛知県健康づくり推進協議会」及び「愛知県健康づくり推進協議会歯科口腔保健対策部会」において報告し、推進方策についての検討を行っています。議論の結果を踏まえながら、基本方針別・ライフステージ別に、目標達成に向けた様々な施策を進めてきました。

愛知県歯科口腔保健基本計画の基本方針と目標

基本方針	目標
(1) 口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小	以下の(2)から(5)に掲げる目標を達成することにより実現を目指す
(2) 歯科疾患の予防	【乳幼児期】健全な歯・口腔の育成 【学 齢 期】口腔状態の向上 【成 人 期】健全な口腔状態の維持 【高 齢 期】歯の喪失の防止
(3) 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上	【乳幼児期】良好な成長発育、適切な口腔機能の獲得 【高 齢 期】口腔機能の維持 ※学齢期、成人期については歯科疾患の予防で対応
(4) 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進	どこでも定期的な歯科検診・歯科医療受診ができる環境の実現
(5) 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備	歯科口腔保健の推進体制の整備

2 最終評価の総括

(1) 最終評価の目的

本計画の最終評価は、策定時及び中間評価時に設定した目標について、その達成状況や関連する取組を評価するとともに、計画期間における関連制度や社会環境の変化に伴う課題を明確にし、次期計画への引継ぎと今後の歯と口の健康づくりの推進に反映させることを目的としています。

(2) 最終評価の結果

目標・指標の達成状況は、直近値を策定時のベースライン値と比較し、表 1 の判定基準により評価判定を行いました。

その結果は表 2・図 1 のとおりです。A 判定（目標を達成）は 9 指標（25.7%）、B 判定（策定時より改善）は 13 指標（37.1%）、合わせて 6 割を超える指標で改善しています。また、C 判定（変化なし）は 1 指標（2.9%）、D 判定（策定時より悪化）は 12 指標（34.3%）です。E 判定（判定できない）の指標はありません。

ライフステージ及び対象別では、乳幼児期・学齢期のう蝕及び歯肉炎に関する指標は、目標達成又は改善しており良好な状況です。成人期・高齢期の残存歯に関する指標は改善している一方で、歯周病に関する指標は改善が進んでいない状況です。障がい者（児）・要介護高齢者・在宅療養者では、2 指標が改善、1 指標が悪化しています。

なお、D 判定のうち 5 指標（乳幼児期の歯科保健指導、学校歯科医による健康教育、学校における給食後の歯みがき、介護施設入所者の口腔管理）、B 判定の 2 指標（学校等におけるフッ化物洗口）は、新型コロナウイルス感染症拡大による取組の中止や延期など、一時的な影響が出ているものと考えられます。これらの指標は、中長期的に経過を注視していく必要があります。

(3) 次期計画に向けて

来年度は、最終評価を基に、目標・指標の設定のあり方も含め、より成果が得られるよう次期計画を策定する予定としています。

今後も引き続き関係機関・団体と連携しながら、各分野の最終評価によるそれぞれの課題と今後の取組の推進をしていきます。また、市町村間の地域差、社会経済的要因による個人格差などをはじめとした歯・口腔の健康格差のさらなる縮小を目指すため、県内全域で社会環境の整備に関する取組の推進を図り、県民の歯・口腔の健康の保持・増進に向けて取り組んでいきます。

表 1 最終評価の判定基準

判定	判定基準		指標数	指標の種類別内訳	
		目標達成率（注）		アウトカム指標	プロセス・アウトプット指標
A	目標を達成	100%以上	9	6	3
B	策定時より改善	10%以上 100%未満	13	4	9
C	変化なし	－10%以上 10%未満	1	0	1
D	策定時より悪化	－10%未満	12	6	6
E	判定できない		0	0	0
合 計			35	16	19

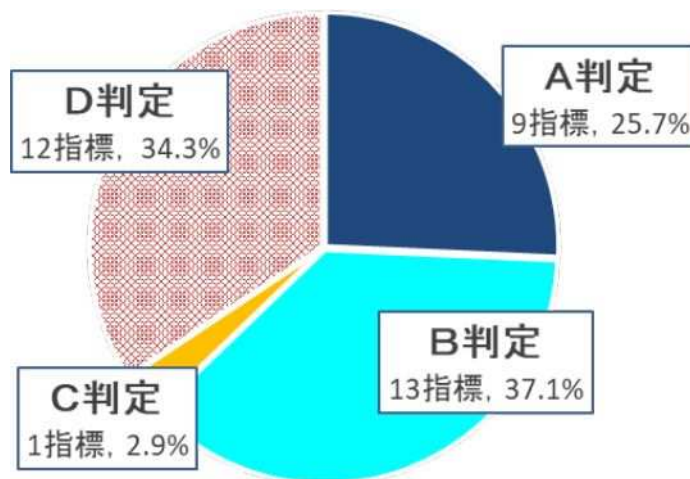
注）各指標の目標値を 100%として、ベースライン値から直近値までの進捗状況を割合で示したもの。

$$\text{目標達成率（\%）} = \frac{(\text{直近値} - \text{ベースライン値})}{(\text{目標値} - \text{ベースライン値})} \times 100$$

表 2 最終評価の結果

判定	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	障がい者等	計
A	2	3	3	1	0	9
B	2	4	1	4	2	13
C	0	0	1	0	0	1
D	2	3	3	3	1	12
E	0	0	0	0	0	0
合計	6	10	8	8	3	35

図 1 最終評価の結果



3 分野別の評価

(1) ライフステージを踏まえた歯科口腔保健の推進

①乳幼児期（出生から5歳）

指 標 (★：健康日本21あいち新計画の指標)			判定	策定時	中間 評価時	直近値	目標値
アウトカム指標	1	3歳児のう蝕のない者の割合の増加 ★	B	86.3% (H23 年度)	89.8% (H28 年度)	93.1% (R3 年度)	95%
	2	3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少	D	14.8% (H22 年度)	16.1% (H28 年度)	20.3% (R3 年度)	10%
	3	3歳児でう蝕がない者の割合が85%以上である市町村の割合の増加	A	68.5% (H23 年度)	85.2% (H28 年度)	100.0% (R3 年度)	100%
プロセス・アウトプット指標	16	保護者による仕上げみがきがされていない1歳6か月児の割合の減少 ★	A	参考値※ 25.0% (H22 年度)	5.5% (H28 年度)	3.9% (R3 年度)	10%→ 5%
	17	2歳児の歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加	B	83.3% (H23 年度)	90.7% (H28 年度)	88.9% (R3 年度)	95%
	18	1歳6か月児歯科健康診査以前に歯科保健指導が受けられる場を設定している市町村の割合の増加	D	78.9% (H21 年度)	88.9% (H28 年度)	72.7% (R3 年度)	100%

※データソースである愛知県乳幼児健康診査情報（母子健康診査マニュアル報告）の間診項目が、平成23（2011）年度から変更されているため参考値としています。問診の主旨は変更していません。

【主な課題】

- 乳幼児期のう蝕の罹患状況が改善している一方で、う蝕を多発する児が一定の割合で存在します。市町村間においても差が見られます。
- 保護者による仕上げみがきの推奨、歯科保健指導を受ける機会の提供など、引き続き歯と口の健康づくりに向けた取組が必要です。
- フッ化物応用のさらなる啓発・推進が必要です。
- 乳幼児からの口腔機能育成に関する支援が必要です。

【今後の取組】

- 乳幼児期の健全な歯・口腔の発育を促すため、子育て支援の一つとして、保護者に対して適切な助言・指導ができる人材の育成を推進していきます。
- フッ化物洗口を安全かつ有効に継続できるよう、地域の支援体制を整備していきます。
- 地域において、食べる、飲み込むなどの口腔機能の育成を促すため、市町村・県保健所及び関係団体等多職種が連携・協力し、支援体制のさらなる整備が必要です。
- 感染症拡大の環境下においても歯科保健活動を継続できるよう、引き続き啓発活動の工夫や新たな手法などを、関係機関・団体と協力して検討していきます。

②学齢期（6 歳から 19 歳）

指 標 (★：健康日本 2 1 あいち新計画の指標)				判定	策定時	中間 評価時	直近値	目標値
アウトカム指標	4	小学校 3 年生における第一大臼歯がう蝕でない者の割合の増加		A	89.2% (H23 年度)	92.6% (H27 年度)	95.1% (R3 年度)	95%
	5	1 2 歳児のう蝕のない者の割合の増加 ★		A	67.6% (H23 年度)	76.0% (H28 年度)	81.9% (R3 年度)	77%
	6	中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	1 4 歳 ★	B	10.5% (H23 年度)	10.8% (H28 年度)	5.8% (R3 年度)	5%
	7		1 7 歳	B	9.1% (H23 年度)	6.5% (H28 年度)	8.5% (R3 年度)	5%
	8	1 2 歳児の一人平均う歯数が 1.0 本未満である市町村の割合の増加 ★		A	77.8% (H23 年度)	98.1% (H28 年度)	100.0% (R3 年度)	100%
プロセス・アウトプット指標	19	学校歯科医による健康教育を支援している施設の割合の増加（小学校）		D	-	46.7% (H28 年度)	31.3% (R3 年度)	100%
	20	フッ化物洗口を実施している施設の割合の増加（幼稚園、保育所、小学校、中学校） ★		B	25.1% (H23 年度)	35.9% (H28 年度)	27.1% (R3 年度)	40%
	21	給食後の歯みがきを実施している施設の割合の増加	小学校	D	78.3% (H23 年度)	75.4% (H28 年度)	40.9% (R3 年度)	100%
	22		中学校 ★	D	22.5% (H23 年度)	22.9% (H28 年度)	13.6% (R3 年度)	35%
	23 (20)	フッ化物洗口を実施している施設の割合の増加（幼稚園、保育所、小学校、中学校） ★		B	25.1% (H23 年度)	35.9% (H28 年度)	27.1% (R3 年度)	40%

【主な課題】

- 学齢期のう蝕の罹患状況が改善している一方で、う蝕を多発・放置する児童・生徒が一定の割合で存在します。市町村間においても差が見られます。
- 学校関係者と連携し、引き続き歯と口の健康づくりに向けた取組が必要です。
- フッ化物応用のさらなる啓発・推進が必要です。
- 高校生に対する歯科保健対策を推進する必要があります。

【今後の取組】

- 給食後の歯みがきや学校歯科医による健康教育の支援を引き続き推進し、生涯にわたる健康行動の定着を促すための環境を整備していきます。
- フッ化物洗口を安全かつ有効に継続できるよう、地域の支援体制を整備していきます。
- 高校卒業後に自らの意思で歯科検診を受ける者を増やすための啓発をしていきます。
- 感染症拡大の環境下においても歯科保健活動を継続できるよう、引き続き啓発活動の工夫や新たな手法などを、関係機関・団体と協力して検討していきます。

③成人期（20 歳から 59 歳、妊産婦を含む）

指 標 (★：健康日本 2 1 あいち新計画の指標)			判定	策定時	中間 評価時	直近値	目標値
アウトカム指標	9	20 歳代（20～29 歳）における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	D	35.6% (H21 年)	48.3% (H28 年)	54.1% (R4 年)	30%
	10	40 歳で歯周炎を有する者の割合の減少 ★	D	27.4% (H23 年度)	40.4% (H28 年度)	49.2% (R3 年度)	20%
	35	40 歳で喪失歯のない者の割合の増加	A	-	86.6% (H28 年度)	93.6% (R3 年度)	90%
	11	40 歳で歯周炎を有する者の割合が 25 % 以下である市町村の割合の増加 ★	D	50.0% (H23 年度)	17.0% (H28 年度)	5.8% (R3 年度)	100%
プロセス・アウトプット指標	24	20 歳代（20～29 歳）で歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加	A	27.6% (H24 年)	26.3% (H28 年)	46.6% (R4 年)	40%
	25	30 歳代（30～39 歳）で歯周病と糖尿病との関係を知っている者の割合の増加	C	19.1% (H24 年)	20.9% (H28 年)	19.6% (R4 年)	40%
	26	20・30・40 歳代（20～49 歳）で年 1 回以上歯の検診を受けている者の割合の増加 ★	A	20: 27.7% 30: 38.3% 40: 40.8% (H24 年)	20: 32.5% 30: 45.6% 40: 41.0% (H28 年)	20: 50.4% 30: 59.8% 40: 58.4% 全体: 57.2% (R4 年)	55%
	27	成人を対象とした歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加	B	81.5% (H23 年度)	96.3% (H28 年度)	98.1% (R3 年度)	100%

【主な課題】

- 若い世代から働く世代に対して、歯周病予防と早期治療のさらなる啓発が必要です。
- 歯周病と糖尿病を始めとする全身疾患、喫煙との関連についての啓発が必要です。
- 職域における歯周病対策を推進する必要があります。
- 市町村が実施する歯周病対策に向けた保健施策を強化する必要があります。

【今後の取組】

- 歯の早期喪失予防には、かかりつけ歯科医による専門的な支援が不可欠であることから、適切な歯科治療、定期的な歯科検診について引き続き啓発していきます。
- 歯周病の主要な危険因子である喫煙及び糖尿病に関する啓発を継続していきます。
- 市町村、健康保険組合、事業所などの関係機関・団体と連携し、職域における歯科検診の導入や受診勧奨のための取組を引き続き推進します。
- 市町村が実施する若い世代から働く世代の歯周病対策を効果的かつ円滑に推進できるよう引き続き支援します。

④高齢期（60 歳以上）

指 標 (★：健康日本21 あいち新計画の指標 ★：愛知県地域保健医療計画の指標)			判定	策定時	中間 評価時	直近値	目標値
アウトカム指標	12	60歳で歯周炎を有する者の割合の減少	D	43.2% (H23 年度)	53.6% (H28 年度)	61.7% (R3 年度)	35%
	13	80歳（75～84歳）で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加 ★★	A	40.7% (H24 年)	49.8% (H28 年)	50.3% (R4 年)	50%
	14	80歳（75～84歳）の咀嚼良好者の割合の増加 ★	B	54.2%※ (H21 年)	82.5% (H28 年)	78.1% (R4 年)	70%→ 85%
	15	60歳で歯周炎を有する者の割合が40%以下である市町村の割合の増加	D	53.7% (H23 年度)	17.0% (H28 年度)	5.7% (R3 年度)	100%
プロセス・アウトプット指標	28	50・60歳代（50～69歳）で年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加	B	50: 41.1% 60: 48.8% (H24 年)	50: 48.8% 60: 50.9% (H28 年)	50: 50.9% 60: 59.5% 全体: 55.1% (R4 年)	60%
	29	70歳代（65～74歳）で歯の健康づくり得点が16点以上の者の割合の増加	D	40.4% (H24 年)	39.6% (H28 年)	31.0% (R4 年)	60%
	30	70歳代（70～79歳）で年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加 ★	B	57.0% (H24 年)	59.4% (H28 年)	59.7% (R4 年)	75%
	31 (27)	成人を対象とした歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加	B	81.5% (H23 年度)	96.3% (H23 年度)	98.1% (R3 年度)	100%

※データソースの変更により、策定時は4項目の選択肢からの回答結果で、中間評価は2項目の選択肢からの回答結果で評価しています。

【主な課題】

- 自分の歯を保持する高齢者が増えており、歯周病予防及び口腔機能の維持・改善のためのさらなる啓発が必要です。
- 食べる、飲み込むなどの口腔機能の維持・改善、オーラルフレイルの早期発見と改善に向けた地域の支援体制の整備が必要です。

【今後の取組】

- 歯の喪失予防には、かかりつけ歯科医による専門的な支援が不可欠であることから、定期的な歯科検診について引き続き啓発していきます。
- 低栄養予防や運動機能の改善に向けて、噛める歯や義歯を保つための歯科治療とともに、オーラルフレイル予防や生活習慣の改善について、引き続き啓発していきます。
- 市町村が実施する高齢者対象の保健事業・介護予防事業に、オーラルフレイル対策の取組が入るよう、関係団体と連携しながら引き続き支援していきます。

(2) 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する 歯科口腔保健の推進

①障がい者（児）・要介護高齢者・在宅療養者

指 標 (★：愛知県地域保健医療計画の指標)			判定	策定時	中間 評価時	直近値	目標値
プロセス・アウトプット指標	32	障害者支援施設※1 及び障害児入所施設での歯科検診実施率の増加 ★	B	参考値※2 37.3% (H23 年度)	90.4% (H29 年度)	97.7% (R4 年度)	100%
	33	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設で入所者の口腔管理を行っている施設の割合の増加	D	34.5% (H24 年度)	63.8% (H29 年度)	26.9% (R4 年度)	100%
	34	在宅療養支援歯科診療所の割合の増加 ★	B	5.6% (H24 年度)	16.7% (H29 年度)	15.6% (R4 年度)	15%→ 20%

※1 障害者支援施設とは、障害者総合支援法により「施設入所支援を行うとともに施設障害福祉サービスを行う入所施設」と規定されている施設。

※2 策定時のデータは、通所施設を含むため参考値としています。

【主な課題】

- 障がい者（児）、在宅及び施設療養者の口腔健康管理を通じて生活の質を担保できるよう、在宅歯科医療に携わる人材の確保と、提供体制のさらなる充実が必要です。
- 口腔健康管理や食支援を必要とする人に提供できるよう、多職種との連携が必要です。

【今後の取組】

- 障がい者（児）、要介護高齢者、在宅療養者の歯科保健医療に従事する人材の育成及び確保を強化していきます。
- 地域包括ケアシステムにおける在宅歯科医療及び口腔健康管理の充実に向けて、歯科専門職と多職種との連携を引き続き推進していきます。
- 感染症拡大の環境下においても口腔健康管理を継続できるよう、関係機関・団体と協力し、引き続き関連施設関係者に対する啓発や働きかけをしていきます。

②へき地歯科保健医療対策

- 厚生労働省「無医地区・無歯科医地区調査（令和元(2019)年10月）」によると、県内には1市3町村に22か所の無歯科医地区（うち3か所は無歯科医地区に準じる地区）が存在し、前回調査（5年ごと）の32か所から減少しています。
- 過去地域における住民の健康保持・増進を図るため、引き続き在宅歯科診療に従事する人材の育成及び確保を強化するとともに、該当市町村と協力し、歯科医療を受けられる体制づくりを進めていきます。

4 その他の取組の評価

(1) 調査・研究

- 愛知県口腔保健支援センター業務として、市町村等の歯科保健データの集計・還元の効率化を図るため、「愛知県歯科保健情報管理システム」を構築しています。
- P D C Aに基づき、日常の歯科保健活動の中に調査・研究を取り入れ、見直しや実践につなげるための仕組みや環境づくりが必要です。
- 今後も引き続き、県民の歯科保健医療ニーズの把握に努めていきます。

(2) 知識の普及啓発

- 県民の歯と口の健康づくりに関する意識の向上、定期的な歯科検診などの適切な保健行動や生活習慣の定着を図るため、自治体や関係団体が啓発活動を行っています。
- 新型コロナウイルス感染拡大による保健事業の中止などに伴い、動画配信を始めとした様々な工夫を行うなど、啓発活動自体に大きな変化が見られています。
- 情報を届けたい対象ほど容易に届かない現状があるため、今後も引き続き、強化すべき対象を絞り、効果的な啓発活動を進めていきます。

(3) 歯と口の健康づくりに携わる者の資質の向上

- 愛知県口腔保健支援センター業務として、行政機関の新任期歯科衛生士に対して、専門能力の習得とともに所属を超えた仲間づくりのための研修の開催、「愛知県歯科衛生士人材育成ガイドライン」作成など、人材育成体制を構築しています。
- 同様に、地域の健康課題解決に向けた研修企画を行い、多職種を含む歯科保健医療関係者の資質向上を図っていきます。
- 歯科医療の場で県民の歯と口の健康づくり支援を担う歯科衛生士の人材確保、資質向上のための施策を、引き続き進めていきます。

(4) 災害対策

- 大規模災害時に円滑な歯科保健医療活動を展開するため、行政機関の受援調整機能の強化に向けた「愛知県災害時歯科保健活動ガイドライン」を作成しています。
- 行政機関と被災地域で実際に活動する関係団体との連携強化・情報共有に向けて、課題や問題点の検討、系統的な研修や訓練を継続して行う必要があります。
- 市町村や関係団体と協力し、県民及び災害時要配慮者と関係者に対して、災害時の歯と口の健康管理の重要性と備えの重要性について、引き続き啓発していきます。

(5) 歯科検診を通じた、保護者による適切な健康管理がなされていない子どもを早期に発見するための対策

- 「歯科医療、歯科保健にかかわる人のための子どもの虐待対応マニュアル」を見直して追補版を作成するとともに、関係機関・団体と合同で研修を開催しています。
- 歯科医療、歯科保健関係者と連携し、引き続き適切な健康管理がなされていない子どもを早期に発見し、適切に連絡・支援できる体制を整備していきます。

愛知県歯科口腔保健基本計画 各指標の最終評価一覧

1 アウトカム指標（10年後の目標達成状況を評価するための結果指標）

	基本方針	No	指 標	他の計画 の指標 (注1)	判定 (注2)	策定時	中間 評価時	直近値	目標値 (注3)	データソース (注4)
乳幼児期	歯科疾患の 予防	1	3歳児のう蝕のない者の割合の増加	☆	B	86.3% (H23年度)	89.8% (H28年度)	93.1% (R3年度)	95%	乳幼児健康診査情報
	口腔機能の 維持・向上	2	3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少		D	14.8% (H22年度)	16.1% (H28年度)	20.3% (R3年度)	10%	乳幼児健康診査情報
	社会環境の 整備	3	3歳児でう蝕がない者の割合が85%以上である市町村の割合の増加		A	68.5% (H23年度)	85.2% (H28年度)	100.0% (R3年度)	100%	乳幼児健康診査情報
学齢期	歯科疾患の 予防	4	小学校3年生における第一大臼歯がう蝕でない者の割合の増加		A	89.2% (H23年度)	92.6% (H27年度)	95.1% (R3年度)	95%	地域歯科保健業務 状況報告
		5	12歳児のう蝕のない者の割合の増加	☆	A	67.6% (H23年度)	76.0% (H28年度)	81.9% (R3年度)	77%	地域歯科保健業務 状況報告
		6	中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 (14歳、17歳)	☆	B	14歳 10.5% (H23年度)	14歳 10.8% (H28年度)	14歳 5.8% (R3年度)	5%	学校保健統計 【文部科学省】
		7			B	17歳 9.1% (H23年度)	17歳 6.5% (H28年度)	17歳 8.5% (R3年度)	5%	学校保健統計 【文部科学省】
	社会環境の 整備	8	12歳児の一人平均う歯数が1.0未満である市町村の割合の増加	☆	A	77.8% (H23年度)	98.1% (H28年度)	100.0% (R3年度)	100%	地域歯科保健業務 状況報告
成人期	歯科疾患の 予防	9	20歳代(20～29歳)における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少		D	35.6% (H21年)	48.3% (H28年)	54.1% (R4年)	30%	生活習慣関連調査
		10	40歳で歯周炎を有する者の割合の減少	☆	D	27.4% (H23年度)	40.4% (H28年度)	49.2% (R3年度)	20%	歯周疾患検診 実施状況報告
		35	40歳で喪失歯のない者の割合の増加		A	86.6% (H28年度)	86.6% (H28年度)	93.6% (R3年度)	90%	歯周疾患検診 実施状況報告
	社会環境の 整備	11	40歳で歯周炎を有する者の割合が25%以下である市町村の割合の増加	☆	D	50.0% (H23年度)	17.0% (H28年度)	5.8% (R3年度)	100%	歯周疾患検診 実施状況報告
高齢期	歯科疾患の 予防	12	60歳で歯周炎を有する者の割合の減少		D	43.2% (H23年度)	53.6% (H28年度)	61.7% (R3年度)	35%	歯周疾患検診 実施状況報告
		13	80歳(75～84歳)で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	☆☆	A	40.7% (H24年)	49.8% (H28年)	50.3% (R4年)	50%	生活習慣関連調査
	口腔機能の 維持・向上	14	80歳(75～84歳)の咀嚼良好者の割合の増加	☆	B	54.2% (H21年)	82.5% (H28年)	78.1% (R4年)	70%→ 85%	生活習慣関連調査 (策定時：国民健康・栄養調査(愛知県分))
	社会環境の 整備	15	60歳で歯周炎を有する者の割合が40%以下である市町村の割合の増加		D	53.7% (H23年度)	17.0% (H28年度)	5.7% (R3年度)	100%	歯周疾患検診 実施状況報告

注1) ☆：健康日本21あいち新計画の指標

★：愛知県地域保健医療計画の指標

注2) A：目標を達成 B：策定時より改善 C：変化なし D：策定時より悪化 E：判定できない

※()は策定時のデータソース

2 プロセス・アウトプット指標（達成を導くための行動指標）

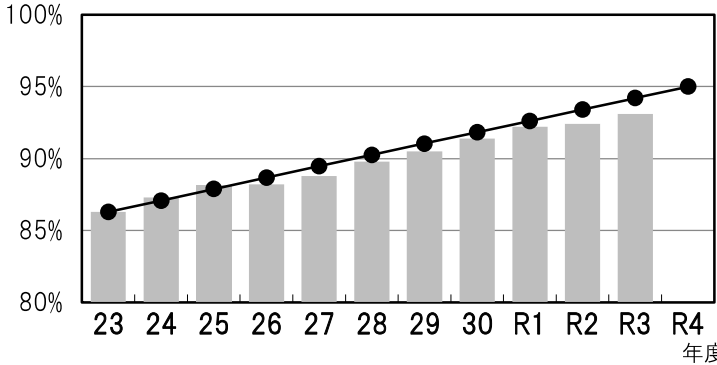
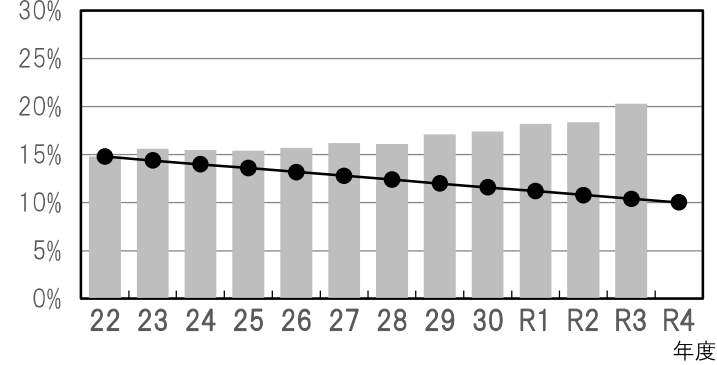
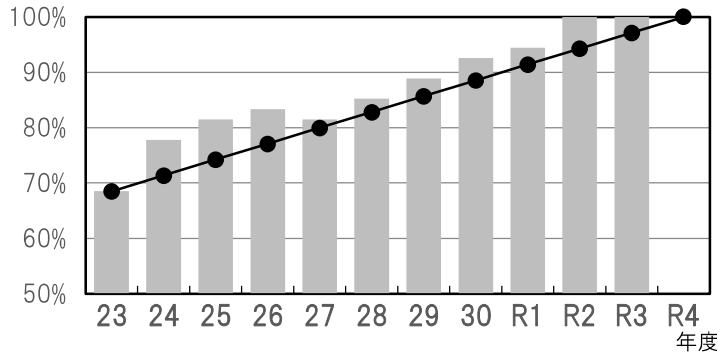
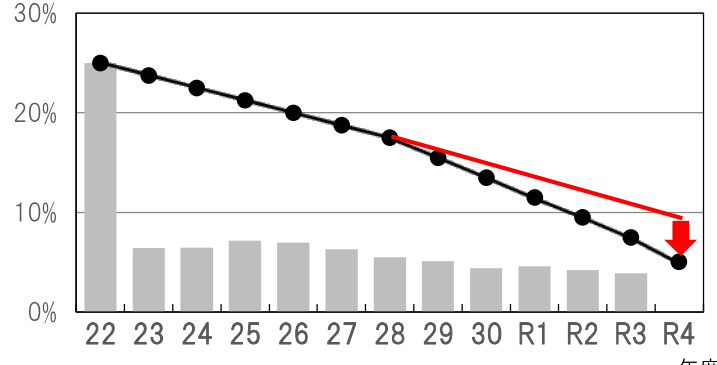
	基本方針	No	指 標	他の計画 の指標 (注1)	判定 (注2)	策定時	中間 評価時	直近値	目標値 (注3)	データソース (注4)
乳幼児期	歯科疾患の 予防	16	保護者による仕上げみがきがされて いない1歳6か月児の割合の減少	☆	A	参考値 25.0% (H22年度)	5.5% (H28年度)	3.9% (R3年度)	10%→ 5%	乳幼児健康診査情報 母子健康診査マニュアル 報告
	口腔機能の 維持・向上	17	2歳児の歯科保健指導を実施して いる市町村の割合の増加		B	83.3% (H23年度)	90.7% (H28年度)	88.9% (R3年度)	90%→ 95%	地域歯科保健業務 状況報告
	社会環境の 整備	18	1歳6か月児歯科健康診査以前に 歯科保健指導が受けられる場を設 定している市町村の割合の増加		D	78.9% (H21年度)	88.9% (H28年度)	72.7% (R3年度)	100%	地域歯科保健業務 状況報告
学 齢 期	歯科疾患の 予防	19	学校歯科医による健康教育を支援 している施設の割合の増加（小学 校）		D	46.7% (H28年度)	46.7% (H28年度)	31.3% (R3年度)	100%	地域歯科保健業務 状況報告
		20	フッ化物洗口を実施している施設 の割合の増加（幼稚園、保育所、 小学校、中学校）	☆	B	25.1% (H23年度)	35.9% (H28年度)	27.1% (R3年度)	40%	地域歯科保健活動 支援事業実施報告 （策定時：う蝕対策 支援事業実施報告）
		21	給食後の歯みがきを実施している 施設の割合の増加（小学校、中学 校）		D	小学生 78.3% (H23年度)	小学生 75.4% (H28年度)	小学生 40.9% (R3年度)	100%	地域歯科保健業務 状況報告
		22		☆	D	中学生 22.5% (H23年度)	中学生 22.9% (H28年度)	中学生 13.6% (R3年度)	35%	地域歯科保健業務 状況報告
	社会環境の 整備	23	フッ化物洗口を実施している施設 の割合の増加（幼稚園、保育所、 小学校、中学校） 再掲	☆	B	25.1% (H23年度)	35.9% (H28年度)	27.1% (R3年度)	40%	地域歯科保健活動 支援事業実施報告 （策定時：う蝕対策 支援事業実施報告）
成 人 期	歯科疾患の 予防	24	20歳代（20～29歳）で歯間部清 掃用器具を使用している者の割合 の増加		A	27.6% (H24年)	26.3% (H28年)	46.6% (R4年)	40%	生活習慣関連調査
		25	30歳代（30～39歳）で歯周病と 糖尿病との関係を知っている者の 割合の増加		C	19.1% (H24年)	20.9% (H28年)	19.6% (R4年)	40%	生活習慣関連調査
		26	20・30・40歳代（20～49 歳）で年1回以上歯の検診を受け ている者の割合の増加	☆	A	20: 27.7% 30: 38.3% 40: 40.8% (H24年)	20: 32.5% 30: 45.6% 40: 58.4% (H28年)	20: 50.4% 30: 59.8% 40: 58.4% 全体: 57.2% (R4年)	55%	生活習慣関連調査
	社会環境の 整備	27	成人を対象とした歯科保健指導を 実施している市町村の割合の増加		B	81.5% (H23年度)	96.3% (H28年度)	98.1% (R3年度)	100%	地域歯科保健業務 状況報告
高 齢 期	歯科疾患の 予防	28	50・60歳代（50～69歳）で年 1回以上歯の検診を受けている者の 割合の増加		B	50: 41.1% 60: 48.8% (H24年)	50: 48.8% 60: 50.9% (H28年)	50: 50.9% 60: 59.5% 全体: 55.1% (R4年)	60%	生活習慣関連調査
		29	70歳代（65～74歳）で歯の健康 づくり得点が16点以上の者の割合 の増加		D	40.4% (H24年)	39.6% (H28年)	31.0% (R4年)	60%	生活習慣関連調査
	口腔機能の 維持・向上	30	70歳代（70～79歳）で年1回以 上歯の検診を受けている者の割合 の増加	☆	B	57.0% (H24年)	59.4% (H28年)	58.4% (R4年)	75%	生活習慣関連調査
	社会環境の 整備	31	成人を対象とした歯科保健指導を 実施している市町村の割合の増加 再掲		B	81.5% (H23年度)	96.3% (H28年度)	98.1% (R3年度)	100%	地域歯科保健業務 状況報告
障 が い 者 ・ 在 宅 療 養 者	定期受診 困難者の 歯科口腔保健 の推進	32	障害者支援施設及び障害児入所施設 での歯科検診実施率の増加	★	B	参考値 37.3% (H23年度)	90.4% (H29年度)	97.7% (R4年度)	100%	障害者（児）入所施設 歯科保健サービス 提供状況調査 （策定時：障害者歯 科医療ネットワーク 推進事業）
		33	介護老人福祉施設及び介護老人保 健施設で入所者の口腔管理を行っ ている施設の割合の増加		D	34.5% (H24年度)	63.8% (H29年度)	26.9% (R4年度)	100%	介護サービス 情報公表システム 【厚生労働省】
		34	在宅療養支援歯科診療所の割合の 増加	★	B	5.6% (H24年度)	16.7% (H29年度)	15.6% (R4年度)	15%→ 20%	東海北陸厚生局 調べ

愛知県歯科口腔保健基本計画

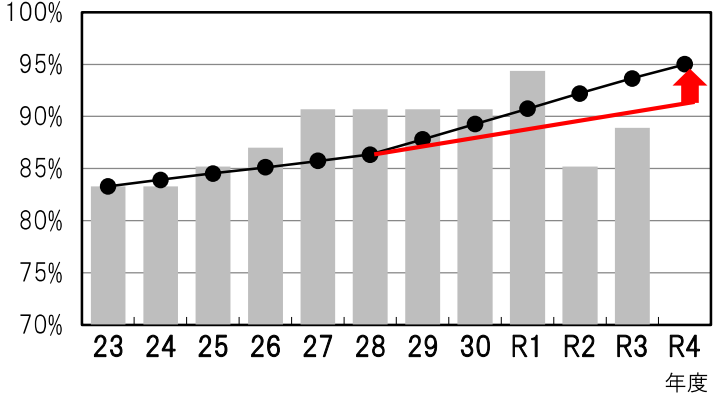

各指標の年次別進捗状況

乳幼児期（出生から5歳）

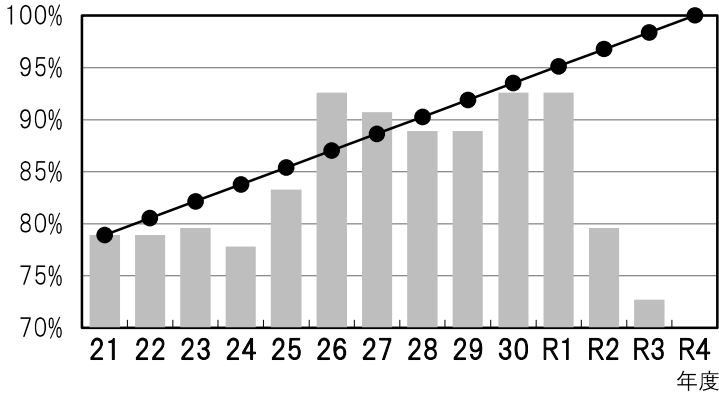

★:健康日本21あいち新計画の指標

1	指標	3歳児のう蝕のない者の割合の増加 ★														
	基本方針	歯科疾患の予防														
	種類	アウトカム指標														
	データソース	愛知県乳幼児健康診査情報														
	達成状況・見直し	目標は達成していないが、改善傾向である。														
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
		現状値			86.3%	87.3%	88.1%	88.2%	88.8%	89.8%	90.5%	91.4%	92.2%	92.4%	93.1%	
		目標値			86.3%	87.1%	87.9%	88.7%	89.5%	90.3%	91.0%	91.8%	92.6%	93.4%	94.2%	95%
																
2	指標	3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少														
	基本方針	口腔機能の維持・向上														
	種類	アウトカム指標														
	データソース	愛知県乳幼児健康診査情報														
	達成状況・見直し	策定時から増加傾向である。乳幼児の口腔機能の育成を支援する取組が必要である。														
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
		現状値		14.8%	15.6%	15.5%	15.4%	15.7%	16.2%	16.1%	17.1%	17.4%	18.2%	18.4%	20.3%	
		目標値		14.8%	14.4%	14.0%	13.6%	13.2%	12.8%	12.4%	12.0%	11.6%	11.2%	10.8%	10.4%	10%
																
3	指標	3歳児でう蝕がない者の割合が85%以上である市町村の割合の増加														
	基本方針	社会環境の整備														
	種類	アウトカム指標														
	データソース	愛知県乳幼児健康診査情報														
	達成状況・見直し	目標を達成している。 ※令和3年度:54市町村／54市町村														
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
		現状値			68.5%	77.8%	81.5%	83.3%	81.5%	85.2%	88.9%	92.6%	94.4%	100.0%	100.0%	
		目標値			68.5%	71.4%	74.2%	77.1%	80.0%	82.8%	85.7%	88.5%	91.4%	94.3%	97.1%	100%
																
16	指標	保護者による仕上げみがきがされていない1歳6か月児の割合の減少 ★														
	基本方針	歯科疾患の予防														
	種類	プロセス・アウトプット指標														
	データソース	愛知県乳幼児健康診査情報(母子健康診査マニュアル報告) ※名古屋市、一宮市、春日井市を除く														
	達成状況・見直し	平成23年度以降、大幅に減少し、中間評価で目標値を変更した。目標を達成している。(平成23年度に母子健康診査マニュアルの改訂されたが、改訂前と質問の主旨は変わっていない。) 【中間評価】目標値変更 10% → 5%														
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
		現状値		25.0%	6.5%	6.5%	7.2%	7.0%	6.3%	5.5%	5.1%	4.4%	4.6%	4.2%	3.9%	
		目標値		25.0%	23.8%	22.5%	21.3%	20.0%	18.8%	17.5%	15.5%	13.5%	11.5%	9.5%	7.5%	5%
																

17

指標	2歳児の歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加														
基本方針	口腔機能の維持・向上							<div>判定</div> <div>B</div>							
種類	プロセス・アウトプット指標														
データソース	愛知県地域歯科保健業務状況報告														
達成状況・見直し	策定時から順調に増加し、中間評価で目標値を変更した。令和2年度に減少に転じたが、回復しつつある。 ※令和3年度：48市町村／54市町村 【中間評価】目標値変更 90% → 95%														
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
	現状値			83.3%	83.3%	85.2%	87.0%	90.7%	90.7%	90.7%	90.7%	94.4%	85.2%	88.9%	
	目標値			83.3%	83.9%	84.5%	85.1%	85.7%	86.3%	87.8%	89.3%	90.7%	92.2%	93.7%	95%

18

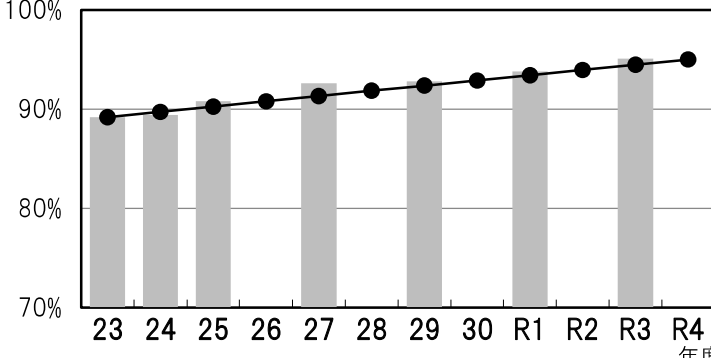
指標	1歳6か月児歯科健康診査以前に歯科保健指導が受けられる場を設定している市町村の割合の増加														
基本方針	社会環境の整備							<div>判定</div> <div>D</div>							
種類	プロセス・アウトプット指標														
データソース	愛知県地域歯科保健業務状況報告														
達成状況・見直し	策定時から順調に増加していたが、令和2年度以降、減少に転じ、さらに減少傾向が続いている。 ※令和3年度：40市町村／54市町村														
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
	現状値	78.9%	78.9%	79.6%	77.8%	83.3%	92.6%	90.7%	88.9%	88.9%	92.6%	92.6%	79.6%	72.7%	
	目標値	78.9%	80.5%	82.1%	83.8%	85.4%	87.0%	88.6%	90.3%	91.9%	93.5%	95.1%	96.8%	98.4%	100%

学齢期（6歳から19歳）

★：健康日本21あいち新計画の指標

4

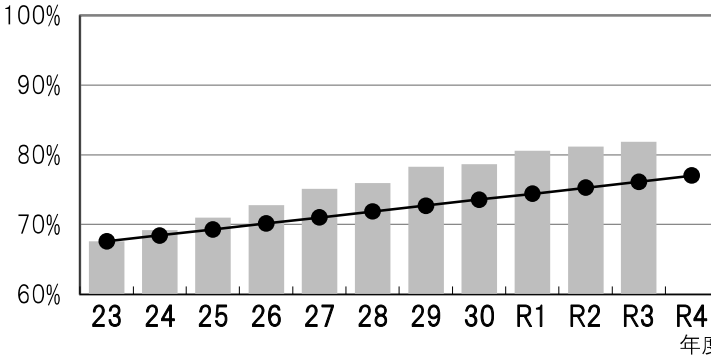
指 標	小学3年生における第一大臼歯がう蝕でない者の割合の増加														
基本方針	歯科疾患の予防							判 定	A						
種 類	アウトカム指標														
データソース	愛知県地域歯科保健業務状況報告（平成25年度から隔年報告） ※名古屋市中核市を除く（令和3年度）														
達成状況・見直し	目標を達成している。														
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
	現状値			89.2%	89.4%	90.8%		92.6%		92.8%		93.8%		95.1%	
	目標値			89.2%	89.7%	90.3%	90.8%	91.3%	91.8%	92.4%	92.9%	93.4%	93.9%	94.5%	95%



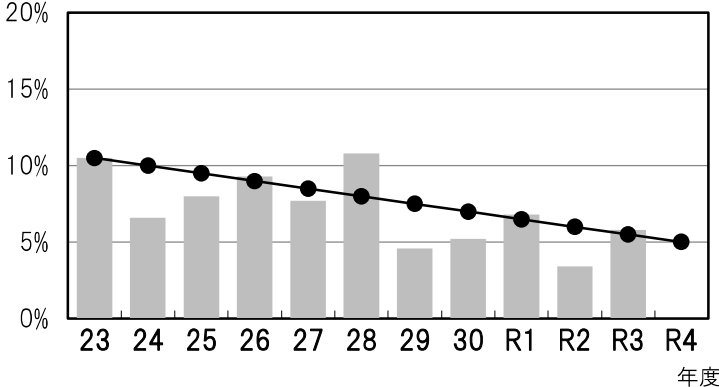
23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
89.2%	89.4%	90.8%		92.6%	92.8%	93.8%	95.1%				

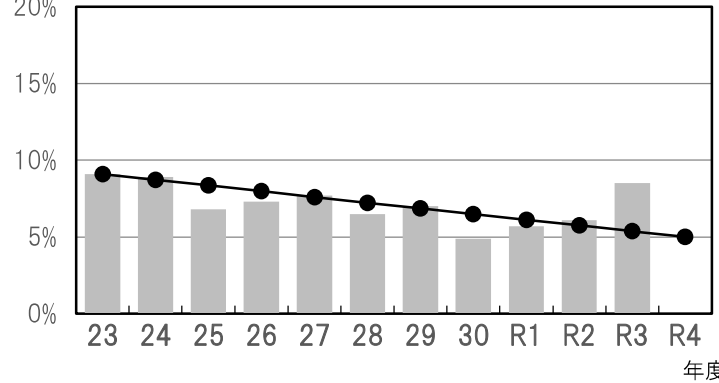
5

指 標	12歳児のう蝕のない者の割合の増加 ★														
基本方針	歯科疾患の予防							判 定	A						
種 類	アウトカム指標														
データソース	愛知県地域歯科保健業務状況報告														
達成状況・見直し	目標達成している。														
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
	現状値			67.6%	69.2%	71.0%	72.8%	75.1%	76.0%	78.3%	78.7%	80.6%	81.2%	81.9%	
	目標値			67.6%	68.5%	69.3%	70.2%	71.0%	71.9%	72.7%	73.6%	74.4%	75.3%	76.1%	77%



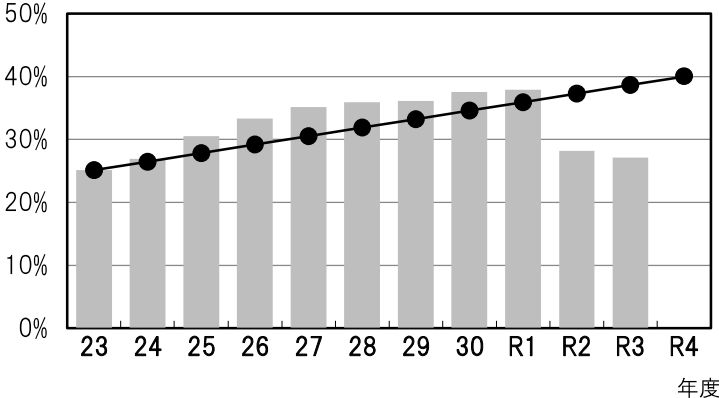

23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
67.6%	69.2%	71.0%	72.8%	75.1%	76.0%	78.3%	78.7%	80.6%	81.2%	81.9%	

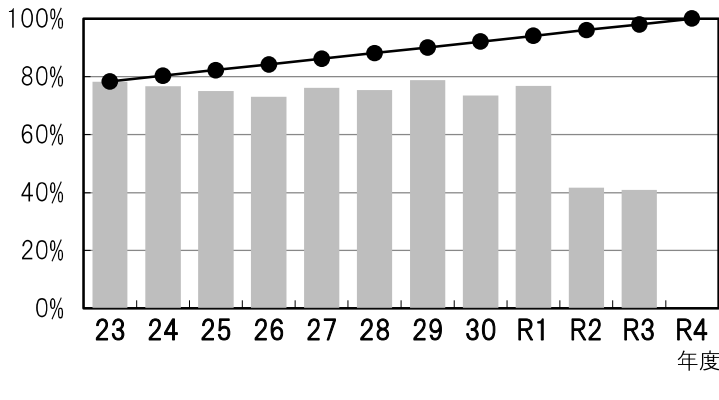

6	指 標		中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少（14歳）★																
	基本方針		歯科疾患の予防							判定		B							
	種 類		アウトカム指標																
	データソース		学校保健統計(文部科学省)																
	達成状況・見直し		年度によりデータのバラつきが見られるが、減少傾向である。																
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4			
現状値				10.5%	6.6%	8.0%	9.3%	7.7%	10.8%	4.6%	5.2%	6.8%	3.4%	5.8%					
目標値				10.5%	10.0%	9.5%	9.0%	8.5%	8.0%	7.5%	7.0%	6.5%	6.0%	5.5%	5%				

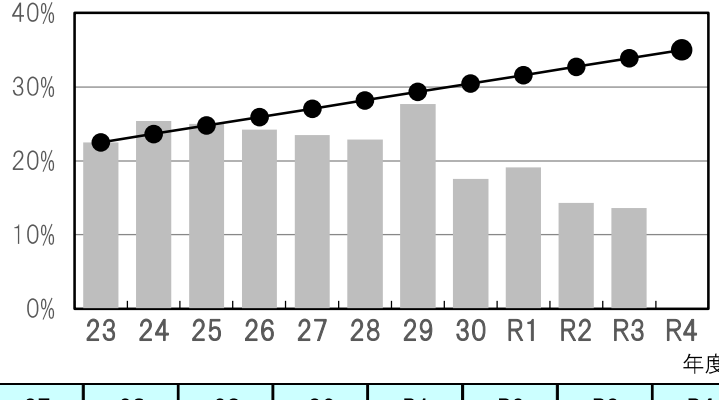

7	指 標		高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少（17歳）																
	基本方針		歯科疾患の予防							判定		B							
	種 類		アウトカム指標																
	データソース		学校保健統計(文部科学省)																
	達成状況・見直し		策定時から減少傾向にあったが、令和3年度は増加している。																
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4			
現状値				9.1%	8.9%	6.8%	7.3%	7.7%	6.5%	7.0%	4.9%	5.7%	6.1%	8.5%					
目標値				9.1%	8.7%	8.4%	8.0%	7.6%	7.2%	6.9%	6.5%	6.1%	5.7%	5.4%	5%				

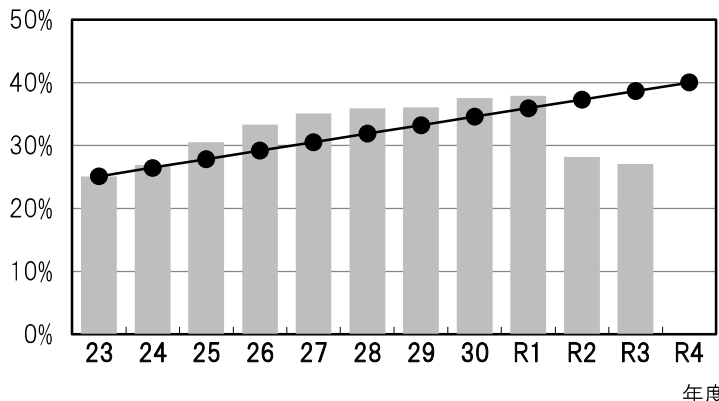

8	指 標		12歳児の一人平均う歯数が1.0本未満である市町村の割合の増加 ★																
	基本方針		社会環境の整備							判定		A							
	種 類		アウトカム指標																
	データソース		愛知県地域歯科保健業務状況報告																
	達成状況・見直し		目標達成している。 ※令和3年度:54市町村／54市町村																
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4			
現状値				77.8%	85.2%	98.1%	96.3%	96.3%	98.1%	100.0%	98.1%	100.0%	100.0%	100.0%					
目標値				77.8%	79.8%	81.8%	83.9%	85.9%	87.9%	89.9%	91.9%	93.9%	96.0%	98.0%	100%				

19	指 標		学校歯科医が健康教育を支援している施設の割合の増加（小学校）																
	基本方針		歯科疾患の予防							判定		D							
	種 類		プロセス・アウトプット指標																
	データソース		愛知県地域歯科保健業務状況報告 ※名古屋市を除く （平成28年度は名古屋市・豊橋市を除く）																
	達成状況・見直し		学校歯科医が1学年でも支援している施設の割合を現状値としている。中間評価時に目標値を設定した。令和2年度に減少に転じている。 																
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4			
現状値									46.7%	52.8%	53.6%	52.9%	30.7%	31.3%					
目標値									46.7%	55.8%	64.9%	74.0%	83.1%	92.2%	100%				

20	指 標	フッ化物洗口を実施している施設の割合の増加（幼稚園、保育所、小学校、中学校）★																	
	基本方針	歯科疾患の予防						判 定		B									
	種 類	プロセス・アウトプット指標																	
	データソース	愛知県う蝕対策支援事業実施報告（～平成27年度） 愛知県地域歯科保健活動支援事業実施報告（平成28年度～） ※報告の名称変更																	
	達成状況・見直し	策定時から順調に増加していたが、令和2年度に減少に転じている。 																	
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4				
	現状値			25.1%	26.9%	30.5%	33.3%	35.1%	35.9%	36.1%	37.5%	37.9%	28.2%	27.1%					
	目標値			25.1%	26.5%	27.8%	29.2%	30.5%	31.9%	33.2%	34.6%	35.9%	37.3%	38.6%	40%				

21	指 標	給食後の歯みがきを実施している施設の割合の増加（小学校）																	
	基本方針	歯科疾患の予防						判 定		D									
	種 類	プロセス・アウトプット指標																	
	データソース	愛知県地域歯科保健業務状況報告（小学1年生） ※名古屋市・豊橋市を除く（令和元年度～）																	
	達成状況・見直し	策定時からほぼ変動なく推移していたが、令和2年度に減少に転じている。 																	
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4				
	現状値			78.3%	76.7%	75.0%	73.0%	76.1%	75.4%	78.8%	73.4%	76.8%	41.6%	40.9%					
	目標値			78.3%	80.3%	82.2%	84.2%	86.2%	88.2%	90.1%	92.1%	94.1%	96.1%	98.0%	100%				

22	指 標	給食後の歯みがきを実施している施設の割合の増加（中学校）★																	
	基本方針	歯科疾患の予防						判 定		D									
	種 類	プロセス・アウトプット指標																	
	データソース	愛知県地域歯科保健業務状況報告（中学1年生） ※名古屋市・豊橋市を除く（令和元年度～）																	
	達成状況・見直し	策定時から減少傾向である。 																	
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4				
	現状値			22.5%	25.4%	25.0%	24.2%	23.5%	22.9%	27.7%	17.6%	19.1%	14.3%	13.6%					
	目標値			22.5%	23.6%	24.8%	25.9%	27.0%	28.2%	29.3%	30.5%	31.6%	32.7%	33.9%	35%				

23	指 標	【再掲】フッ化物洗口を実施している施設の割合の増加（幼稚園、保育所、小学校、中学校）★																	
	基本方針	社会環境の整備						判 定		B									
	種 類	プロセス・アウトプット指標																	
	データソース	愛知県う蝕対策支援事業実施報告（～平成27年度） 愛知県地域歯科保健活動支援事業実施報告（平成28年度～） ※事業改編による報告の名称変更																	
	達成状況・見直し	策定時から順調に増加していたが、令和2年度に減少に転じている。 																	
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4				
	現状値			25.1%	26.9%	30.5%	33.3%	35.1%	35.9%	36.1%	37.5%	37.9%	28.2%	27.1%					
	目標値			25.1%	26.5%	27.8%	29.2%	30.5%	31.9%	33.2%	34.6%	35.9%	37.3%	38.6%	40%				

成人期（20歳から59歳、妊産婦を含む）

★：健康日本21あいち新計画の指標

9	指 標		20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少（20～29歳）																		
	基本方針		歯科疾患の予防							判 定		D									
	種 類		アウトカム指標																		
	データソース		愛知県生活習慣関連調査																		
	達成状況・見直し		策定時と比べて大幅に増加している。若い世代への歯周病対策の推進が必要である。																		
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4						
	現状値	35.6%			38.2%				48.3%							54.1%					
	目標値	35.6%	35.2%	34.7%	34.3%	33.9%	33.4%	33.0%	32.6%	32.2%	31.7%	31.3%	30.9%	30.4%	30%						

10	指 標		40歳で歯周炎を有する者の割合の減少★																		
	基本方針		歯科疾患の予防							判 定		D									
	種 類		アウトカム指標																		
	データソース		愛知県歯周疾患検診実施状況報告																		
	達成状況・見直し		策定時と比べて大幅に増加している。平成28年度から歯周病検診マニュアル2015を適用開始し、平成30年以降は横ばいの状態である。																		
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4						
	現状値			27.4%	27.8%	29.9%	30.6%	32.6%	40.4%	46.0%	49.9%	49.5%	49.3%	49.2%							
	目標値			27.4%	26.7%	26.1%	25.4%	24.7%	24.0%	23.4%	22.7%	22.0%	21.3%	20.7%	20%						

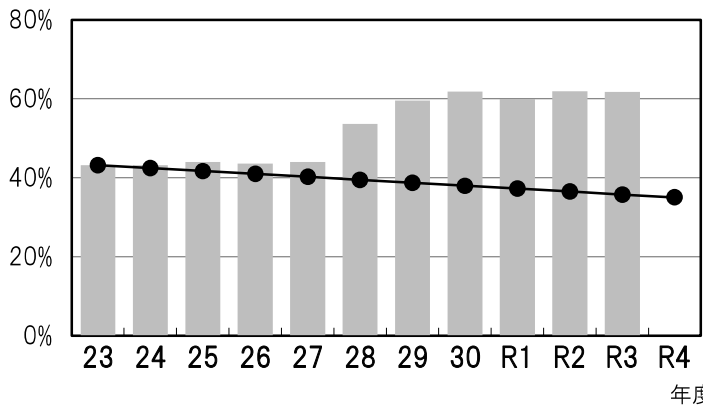
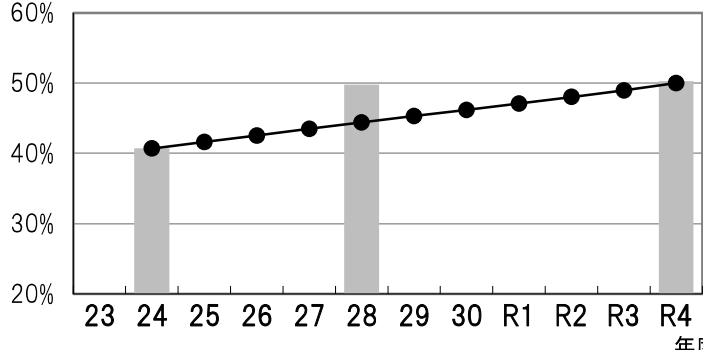
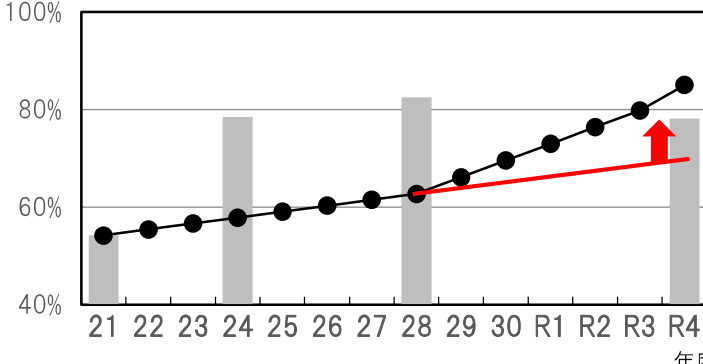
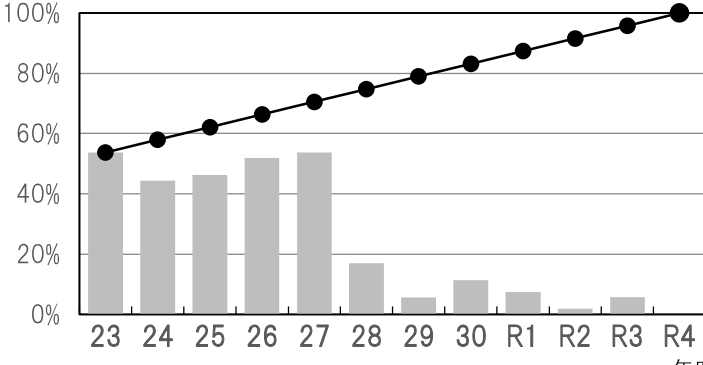
11	指 標		40歳で歯周炎を有する者の割合が25%以下である市町村の割合の増加★																		
	基本方針		社会環境の整備							判 定		D									
	種 類		アウトカム指標																		
	データソース		愛知県歯周疾患検診実施状況報告																		
	達成状況・見直し		策定時と比べて大幅に減少している。平成28年度から歯周病検診マニュアル2015を適用開始し、平成29年度以降は横ばいの状態である。 ※令和3年度：3市町村／52市町村 未実施・受診なしを除く。																		
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4						
	現状値			50.0%	53.7%	40.7%	44.4%	35.2%	17.0%	3.7%	5.7%	7.5%	3.8%	5.8%							
	目標値			50.0%	54.5%	59.1%	63.6%	68.2%	72.7%	77.3%	81.8%	86.4%	90.9%	95.5%	100%						

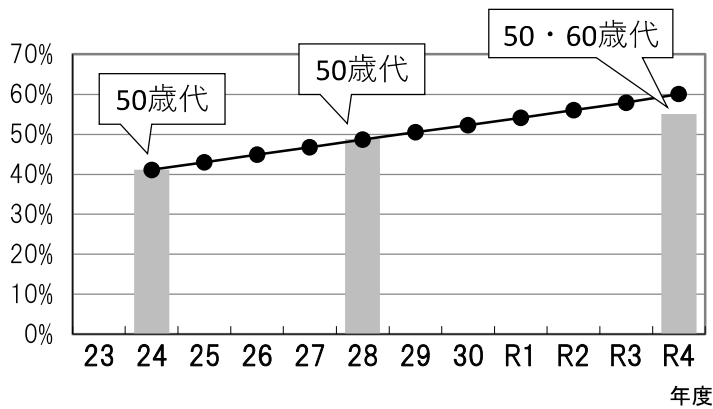
35	指 標		40歳で喪失歯のない者の割合の増加																		
	基本方針		歯科疾患の予防							判 定		A									
	種 類		アウトカム指標																		
	データソース		愛知県歯周疾患検診実施状況報告 ※平成30年度～：全市町村																		
	達成状況・見直し		中間評価時に目標値を設定した。目標達成している。 【中間評価】 指標を新たに追加 ※令和2年度：名古屋市を除く。																		
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4						
	現状値								86.6%	86.6%	91.1%	93.4%	89.5%	93.6%							
	目標値								86.6%	87.2%	87.7%	88.3%	88.9%	89.4%	90%						

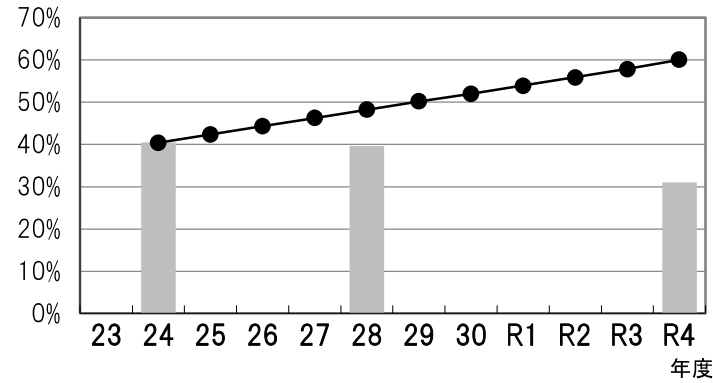
24	指 標		20歳代で歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加（20～29歳）														
	基本方針		歯科疾患の予防														
	種 類		プロセス・アウトプット指標														
	データソース		愛知県生活習慣関連調査														
	達成状況・見直し		策定時と比べて増加し、目標を達成している。														
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	
現状値					27.6%				26.3%						46.6%		
目標値					27.6%	28.8%	30.1%	31.3%	32.6%	33.8%	34.9%	36.2%	37.4%	38.6%	40%		
25	指 標		30歳代で歯周病と糖尿病との関係を知っている者の割合の増加（30～39歳）														
	基本方針		歯科疾患の予防														
	種 類		プロセス・アウトプット指標														
	データソース		愛知県生活習慣関連調査														
	達成状況・見直し		策定時と比べてほぼ変化がない。 若い世代への啓発の推進が必要である。														
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	
現状値					19.1%				20.9%						19.6%		
目標値					19.1%	21.2%	23.3%	25.4%	27.5%	29.6%	31.4%	33.5%	35.6%	37.7%	40%		
26	指 標		20・30・40歳代で年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加（20～49歳） ★														
	基本方針		歯科疾患の予防														
	種 類		プロセス・アウトプット指標														
	データソース		愛知県生活習慣関連調査														
	達成状況・見直し		策定時から順調に増加し、目標達成している。 中間評価で「20歳代」「40歳代」の指標を追加した。														
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	
現状値					38.3%				45.6%						57.2%		
目標値					38.3%	40.0%	41.6%	43.3%	45.0%	46.7%	48.2%	49.8%	51.5%	53.2%	55%		
27	指 標		成人を対象とした歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加														
	基本方針		社会環境の整備														
	種 類		プロセス・アウトプット指標														
	データソース		愛知県地域歯科保健業務状況報告														
	達成状況・見直し		策定時から順調に増加していたが、令和2年度以降やや減少している。 ※令和3年度：53市町村／54市町村														
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	
現状値				81.5%	90.7%	94.4%	92.6%	90.7%	96.3%	98.1%	100.0%	100.0%	98.1%	98.1%			
目標値				81.5%	83.2%	84.9%	86.5%	88.2%	89.9%	91.6%	93.3%	95.0%	96.6%	98.3%	100%		

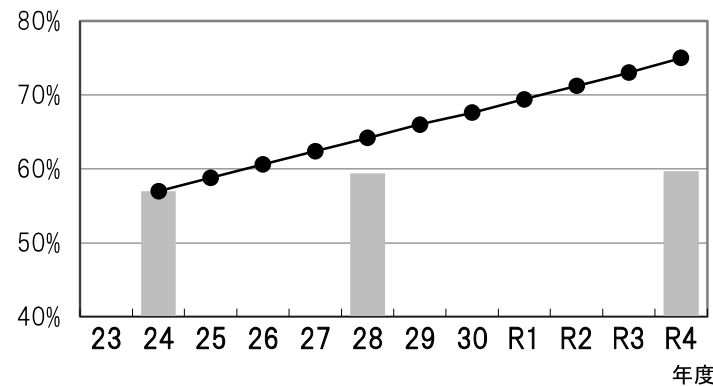
高齢期（60歳以上）

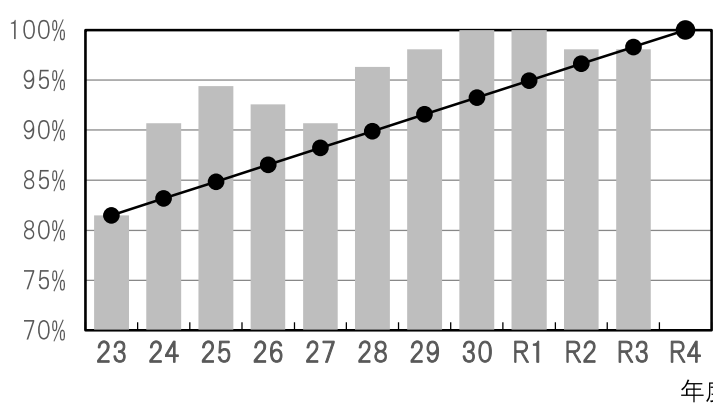
★:健康日本21あいち新計画の指標 ★:愛知県地域保健医療計画の指標

12	指 標		60歳で歯周炎を有する者の割合の減少														
	基本方針		歯科疾患の予防														
	種 類		アウトカム指標														
	データソース		愛知県歯周疾患検診実施状況報告														
	達成状況・見直し		策定時から5年間は横ばいであったが、平成28年度から増加している。平成28年度から歯周病検診マニュアル2015適用開始し、平成29年度以降は横ばいの状態である。若い世代から継続した歯周病対策の推進が必要である。														
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4		
	現状値			43.2%	43.2%	44.0%	43.6%	44.0%	53.6%	59.5%	61.8%	59.9%	61.9%	61.7%			
	目標値			43.2%	42.5%	41.7%	41.0%	40.2%	39.5%	38.7%	38.0%	37.2%	36.5%	35.7%	35%		
13	指 標		80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加（75～84歳）★														
	基本方針		歯科疾患の予防														
	種 類		アウトカム指標														
	データソース		愛知県生活習慣関連調査														
	達成状況・見直し		策定時と比べて増加し、目標は達成している。														
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4		
	現状値				40.7%				49.8%						50.3%		
	目標値				40.7%	41.6%	42.6%	43.5%	44.4%	45.4%	46.2%	47.1%	48.0%	49.0%	50%		
14	指 標		80歳の咀嚼良好者の割合の増加（75～84歳）★														
	基本方針		口腔機能の維持・向上														
	種 類		アウトカム指標														
	データソース		愛知県生活習慣関連調査 策定時:国民健康・栄養調査(愛知県分)														
	達成状況・見直し		策定時と比べて順調に増加し、中間評価で目標値を変更した。令和4年は減少し、目標達成には至らなかった。 【中間評価】 目標値変更 70% → 85%														
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4		
	現状値	54.2%			78.5%				82.5%						78.1%		
	目標値	54.2%	55.4%	56.6%	57.8%	59.1%	60.3%	61.5%	62.7%	66.1%	69.6%	73.0%	76.4%	79.8%	85%		
15	指 標		60歳で歯周炎を有する者の割合が40%以下である市町村の割合の増加														
	基本方針		社会環境の整備														
	種 類		アウトカム指標														
	データソース		愛知県歯周疾患検診実施状況報告														
	達成状況・見直し		策定時と比べて大幅に減少している。平成28年度から歯周病検診マニュアル2015適用開始し、平成29年度以降は横ばいの状態である。 ※令和2年度:1市町村/52市町村 未実施・受診なしを除く。														
データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4		
	現状値			53.7%	44.4%	46.3%	51.9%	53.7%	17.0%	5.6%	11.3%	7.4%	1.9%	5.7%			
	目標値			53.7%	57.9%	62.1%	66.3%	70.5%	74.7%	79.0%	83.2%	87.4%	91.6%	95.8%	100%		

28	指 標		50・60歳代で年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加（50～69歳）																											
	基本方針		歯科疾患の予防														判 定		B											
	種 類		プロセス・アウトプット指標																											
	データソース		愛知県生活習慣関連調査																											
	達成状況・見直し		最終目標に向けて順調に改善している。 中間評価で「60歳代」の指標を追加している。																											
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4														
現状値					41.1%				48.8%							55.1%														
目標値					41.1%	43.0%	44.9%	46.8%	48.7%	50.6%	52.3%	54.1%	56.0%	57.9%	60%															

29	指 標		70歳代で歯の健康づくり得点が16点以上の者の割合の増加（65～74歳）																											
	基本方針		歯科疾患の予防														判 定		D											
	種 類		プロセス・アウトプット指標																											
	データソース		愛知県生活習慣関連調査																											
	達成状況・見直し		策定時と比べて減少している。 若い世代から継続した歯周病対策の推進が必要である。																											
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4														
現状値					40.4%				39.6%							31.0%														
目標値					40.4%	42.4%	44.3%	46.3%	48.2%	50.2%	52.0%	53.9%	55.9%	57.8%	60%															

30	指 標		70歳代で年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加（70～79歳）★																											
	基本方針		口腔機能の維持・向上														判 定		B											
	種 類		プロセス・アウトプット指標																											
	データソース		愛知県生活習慣関連調査																											
	達成状況・見直し		策定時と比べてやや増加している。 若い世代から継続した歯周病対策の推進が必要である。																											
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4														
現状値					57.0%				59.4%							59.7%														
目標値					57.0%	58.8%	60.6%	62.4%	64.2%	66.0%	67.6%	69.4%	71.2%	73.0%	75%															


31	指 標		【再掲】成人を対象とした歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加																											
	基本方針		社会環境の整備														判 定		B											
	種 類		プロセス・アウトプット指標																											
	データソース		愛知県地域歯科保健業務状況報告																											
	達成状況・見直し		策定時から順調に増加していたが、令和2年度以降やや減少している。 ※令和3年度：53市町村／54市町村																											
	データ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4														
現状値				81.5%	90.7%	94.4%	92.6%	90.7%	96.3%	98.1%	100.0%	100.0%	98.1%	98.1%																
目標値				81.5%	83.2%	84.9%	86.5%	88.2%	89.9%	91.6%	93.3%	95.0%	96.6%	98.3%	100%															

障がい者(児)・要介護高齢者・在宅療養者

★:愛知県地域保健医療計画の指標

32	指 標		障害者支援施設及び障害児入所施設での 歯科検診実施率の増加 ★													
	基本方針		定期受診困難者の歯科 口腔保健の推進						判 定		B					
	種 類		プロセス・アウトプット指標													
	データソース		愛知県障害者(児)入所施設歯科保健サービス提供 状況調査 策定時:愛知県障害者歯科医療ネットワーク推進事 業													
	達成状況 ・ 見直し		目標は達成していないが、改善傾向である。 【中間評価】 データソース変更													
	デ ー タ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
現状値				37.3%											97.7%	
目標値				37.3%	43.0%	48.7%	54.4%	60.1%	65.8%	71.5%	77.2%	82.9%	88.6%	94.3%	100%	

年度		23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
率		37.3%	43.0%	48.7%	54.4%	60.1%	65.8%	71.5%	77.2%	82.9%	88.6%	94.3%	100%

33	指 標		介護老人福祉施設及び介護老人保健施設 入所者の口腔管理を行っている施設の割 合の増加													
	基本方針		定期受診困難者の歯科 口腔保健の推進						判 定		D					
	種 類		プロセス・アウトプット指標													
	データソース		介護サービス情報公表システム(厚生労働省) ※各年度1月現在データ													
	達成状況 ・ 見直し		策定時から増加傾向であったが、令和2年度以降は 減少に転じている。 													
	デ ー タ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
現状値					34.5%				62.5%	63.8%	68.0%	69.9%	71.2%	26.7%	26.9%	
目標値					34.5%	41.1%	47.6%	54.2%	60.7%	67.3%	73.1%	79.7%	86.2%	92.8%	100%	

年度		23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
率		34.5%	41.1%	47.6%	62.5%	63.8%	68.0%	69.9%	71.2%	26.7%	26.9%		

34	指 標		在宅療養支援歯科診療所の割合の増加 ★													
	基本方針		定期受診困難者の歯科 口腔保健の推進						判 定		B					
	種 類		プロセス・アウトプット指標													
	データソース		東海北陸厚生局調べ ※各年度11～1月現在データ													
	達成状況 ・ 見直し		策定時から順調に増加し、中間評価で目標値を変更 した。令和2年3月末に施設基準の経過措置が終了 し、施設基準の要件を満たしていない施設が除外され たため減少している。 【中間評価】 目標値変更 15% → 20%													
	デ ー タ	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
現状値					5.6%	6.2%	7.1%	7.4%	12.9%	16.7%	20.8%	20.7%	15.1%	15.2%	15.6%	
目標値					5.6%	6.5%	7.5%	8.4%	9.4%	10.3%	12.2%	14.3%	16.3%	18.4%	20%	

年度		23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
率		5.6%	6.2%	7.1%	7.4%	12.9%	16.7%	20.8%	20.7%	15.1%	15.2%	15.6%	



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業や取組が中止・中断するなど、数値が悪化したと
考えられるもの。